

令和2年5月15日

令和2年度第2回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

令和2年度第2回教育委員会定例会会議録

日時 令和2年5月15日（金）  
14時00分～15時15分

場所 教育委員会室

出席者

東 條 教 育 長	奥	副 教 育 長	兼 生 徒 指 導 総 括 監 長
島 津 委 員	前 田 橋 緒 池 山 堀 中 窪 南 岩 上 橋 中 宮 田 宮 田 森 黒 荒 寺 鶴 中	教 育 次 長 兼 学 校 職 務 校 長 兼 保 社 文 人 義 務 福 総 教 職 教 務 高 生 教 高 総	兼 生 徒 指 導 総 務 福 利 課 長 兼 設 置 員 教 育 課 長 兼 体 育 課 長 兼 財 政 課 長 兼 同 和 教 育 課 長 兼 特 別 支 援 教 育 室 長 兼 厚 生 企 画 監 理 監 理 監 導 監 導 参 事 補 佐

議 決 事 項

件 名	提 案 理 由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第1号 鹿児島県産業教育審議会委員の任命について</p>	<p>鹿児島県産業教育審議会委員の辞任に伴い、その後任を任命しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>
<p>議案第2号 鹿児島県スポーツ推進審議会委員の任命について</p>	<p>鹿児島県スポーツ推進審議会委員の2人の辞任に伴い、その後任を任命しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>
<p>議案第3号 鹿児島県立図書館協議会委員の任命について</p>	<p>鹿児島県立図書館協議会委員の1人の辞任に伴い、その後任を任命しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>
<p>議案第4号 鹿児島県文化財保護審議会委員の任命について</p>	<p>鹿児島県文化財保護審議会委員の任期満了に伴い、その後任を任命しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>

# 会 議 要 旨

## 1 開会

## 2 会議の公開等について

議案第1号、議案第2号、議案第3号及び議案第4号については、非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

## 3 令和2年度第1回教育委員会定例会の会議録の承認

承 認

## 4 教育長報告

### 報告第1号 予算議案の作成に関する知事への意見申出について

#### (1) 令和2年度当初予算（第2号補正）案作成の件

- － 令和2年度当初予算（第2号補正）案について説明し、知事から意見を求められたので、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したことを報告（教育次長兼総務福利課長）－

(島津委員) 今回は3月分の給食費に関する補正だが、4月分の給食費はどのような扱いになるのか。

(教育次長兼総務福利課長) 今回の補正は、令和2年3月2日から3月25日の臨時休業、実質16日間の分について、納入業者に対して一定の割合を補助するというもので、国庫を充当している。これは国の令和元年度事業である県立学校給食費返還等事業の補助金であり、食材及び加工のキャンセルや保管に係る経費等が対象とされたことを踏まえて報告するものである。なお、県立学校が4月22日から再び休業になったが、4月分の給食費の補助については、国庫での予算が提示されていない状況である。

(島津委員) 4月分については、また改めてということになるのか。

(教育次長兼総務福利課長) 4月分についてどうするかということは、今のところ決まっていない。

(原之園委員) 児童クラブの本の貸出しについて、非常に良い事業だと思うが、該当するのは何件ぐらいあるのか。

(社会教育課長) 予算の85万円の使途については、備品購入費として、図書を購入するものに約50万円、残りの30万円ほどについては、各市町村教委を通して、児童クラブで貸出しをすることになっているため、市町村教委への発送代ということで予算化している。また、令和元年5月1日現在、県内の児童クラブは588クラブ存在するが、この中で6つのクラブに420冊を貸し出している。なお、今後、貸し出し予定のある市町村が3市町村ほどあるので、これからまだまだ

増えていくものと思われる。

(教育長) 異議がないので、教育長報告第1号(1)は了承をいただいたものとする。

**(2) 令和2年度当初予算(第4号補正)案作成の件**

— 令和2年度当初予算(第4号補正)案について説明し、知事から意見を求められたので、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したことを報告(教育次長兼総務福利課長) —

(教育長) 県立特別支援学校スクールバス感染症対策支援事業により、どれくらいの期間で、何台くらいのバスが増便されることになるのか。

(特別支援教育室長) 現在、特別支援学校では通学バスが44台運行されているが、少人数化を図る必要のある学校があり、20台ほど増便する予定である。その期間については、5月下旬から1学期の終わりまでとしている。

(教育長) 異議がないので、教育長報告第1号(2)は了承をいただいたものとする。

**報告第2号 教育業務連絡指導手当支給規則の一部を改正する規則の制定について**

— 教育業務連絡指導手当支給規則の一部を改正する規則について説明し、教育長の臨時代理により制定した旨報告(教職員課長) —

(島津委員) この規則改正に伴う予算措置については、いつの段階で行われるのか。

(教職員課長) 手当も含めた教職員の人件費として、今年度予算で措置している。これについては前年度の1月現在の在籍数をもとに算出したもので、例年、年度末に補正予算を計上している。当然、今回の改正部分も補正予算の中で反映させるため、このことで個別に予算措置を行うということはない。

(教育長) 異議がないので、教育長報告第2号は了承をいただいたものとする。

**5 その他**

**(1) 令和3年度鹿児島県公立学校教員等採用選考試験の概要について**

— 令和3年度鹿児島県公立学校教員等採用選考試験の概要や主な変更点等について説明(教職員課長) —

(島津委員) 今年も採用人数が増えるということだが、倍率が年々下がってきていることを心配している。倍率を上昇させるためには、受験

者数、応募者数の増加が必要である。そのために、県教委ではPRビデオを作成しているが、このフォロワー数というのはどれくらいいるのか。

(教職員課長) 大学等の説明する場でPRビデオをアナウンスして、視聴してもらうようお願いしている。

(島津委員) PRビデオはYouTubeで見られるが、視聴者数が他の県と比べて少ないところが気になった。鹿児島の場合は小学校、中学校、高校で分散してるのかもしれないが、PRビデオをもう少し多くの人目に触れるような形にした方が良いのではないか。また、試験の際に、コロナ対策という形で特別な対策をとっているのか。

(教職員課長) コロナの対応については、現在進行形で検討しているところである。例えば、本県の教員採用選考試験よりも先に、県の行政職員の採用試験がある。また、九州内の他県の教員採用試験については、同じく7月12日というのを統一日として各県準備しているところである。現時点では、1市を除いて全ての県、政令指定都市ともに本県と同じく7月12日に実施する予定で準備をしている。また、文科省の方からも色々な情報をいただいているが、どう変化していくか分からないという状況である。一般論で申し上げれば、若干、教室を増やして少しでも密にならないようにするなど、そのような対応ができると思うが、現在進行形で検討中というのが現状である。

(原之園委員) 昨年から特別支援教育を求める子供たちの人数が増えているということで、期限付き教員で対応しているが、そこも踏まえて採用予定人数を前年度より40人程度増やすという理解でよろしいか。

(教職員課長) 委員ご指摘のとおりである。特に小学校、中学校で増えており、小学校については、前年度90名増やした上に、さらに今年度も増やしている。この一番の原因は特別支援学級の増加である。

## (2) 令和2年度公立高等学校入学者選抜について

－ 令和2年度公立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要等について説明  
(高校教育課指導監) －

(島津委員) 非常に気になるのは受検倍率である。昨年度は0.8倍であったが、10年前の数値を調べてみたら、1.01倍であった。10年前から倍率はずっと下がってきていて、1倍以下というのが近年は当たり前になってしまっている。特に農業系の高校の0.54倍とあるが、これも10年前は0.9倍ほどあり、5割ほど下がっている。また、目安点の関連で、100点未満の合格者の割合は令和2年度では4.68%だった。10年前を調べてみると、2、3%だったので、100点未満で合格してる人の割合が増えているという傾向がある。その点も受検

倍率の低下とともに問題であると思う。これらの問題解決のために、高校では「学びの基礎診断」が導入されているので、これを活用してしっかりフォローしてもらいたい。さらに、このデータを各市町村教委経由で中学校にフィードバックしていると思うが、中学校でも今回の分析結果を活用していただきたい。また、資料によると、数学の「4数と式とその応用」と「5空間図形とその応用」の問題で非常に低い正答率となっている。理科については「3粒子領域の問題」と「5エネルギー領域の問題」が3割の正答率となっている。これらの低い正答率の部分がしっかりと中学校にフィードバックされているのか気になるところであるので、その点を中学校側も受け止めていただき、今後活用していただければと思う。

(高校教育課指導監) 受検倍率の低下については、第一義的には少子化の問題が大きいと思っているが、私立高校に通う生徒に対する就学支援制度の制度改正により、中学生の進路の選択肢が広がったということも一つの大きな理由ではないかと分析している。私どもとしては、各学校の教育内容を更に充実させて、特に地方の学校においては、地元の活性化に地元高校生が担い手となるような取り組みなどを実践することで、地域の方々に愛され、必要とされる高校づくりをすることが必要だと考えている。農業高校については、本課としても、新しい農業教育プロジェクトの中で、農業高校生の海外派遣事業などを行うとともに、中学生に農業高校を体験してもらおうという活動を取り入れているので、そのような取組をとおしてのそこで魅力の発信ということについても取り組んでいきたいと思っている。また、低い点数で合格する生徒の割合が増えているのではないかとということがあった。高等学校における取組としては、学力検査の結果に加えて、昨年度から各学校において実施をしている、委員からご発言のあった「学びの基礎診断」等の中で、入学者の学力、学習状況を早い段階で把握して、高等学校の指導内容に対応できるように、課題がある教科、分野については、1学年の早い段階で必要な指導を行うように促していきたい。ご指摘があった数学の空間認識の問題や理科で非常に出来が悪かった化学の分野についてであるが、一つ突出してできていない問題に化学の実験をした後に数式でそれを表すという問題がある。これは具体的な数字を使って表すのであれば、おそらく解けたであろうと思われるが、具体的なものを抽象化して、汎用性を持たせて文字式等で表現するという内容の問題だった。このように、具体の事象から汎用性を持たせ、アルゴリズムを作るという流れの学習が、これからのプログラム教育で非常に大事になってくる。そのようなところをアナウンスして、中学校にも指導してまいりたい。

(原之園委員) この分析結果は、教育事務所及び市町村教委経由で学校に提供される。今年はコロナの関係で、授業時間の確保が学校でも課題で、なかなか研修の機会を設けるのが厳しいのではないかと思います。

ている。そういった時に、中学校の社会であれば、ぜひこのページだけは見てくださいといったように、内容を精選して提供する形が良いのではないかと思うが、いかがか。

(高校教育課指導監) 定期的に各教育事務所の所長や指導課長が集まる会議が開催されるが、特に、年度当初の指導課長会議においては、この問題についてはこういう指導をお願いしたいという指導を実施している。今回は理数系の教科に少し課題があると感じていたので、その点を強調して、継続して指導してもらいたい。

(原之園委員) 学校が再開されたばかりで、これからのことは分からないが、子供たちの勉強の機会を作るために、なるべく色々なことを授業時間にあてたいという時に、先生方は何回も集まることはできないと思う。そのような時に、先生方にこの教科であれば、ここだけはぜひ確認をしてほしいとか、絞れば良いのではないかと思った。

(高校教育課指導監) 今回の御意見を今後活かしてまいりたい。

### (3) 鹿児島県社会教育委員の公募・審議のテーマについて

－ 鹿児島県社会教育委員の審議のテーマ及び委員の公募について説明  
(社会教育課長) －

(島津委員) 公募委員の募集について、例えば2名の公募委員を募集した時に、応募者も2、3人でなかなか応募者数が増えない。それについても工夫を重ねて、少しでも多くの方に応募していただき、その中で委員を決定できるような形にしていきたい。

(社会教育課長) 今回の御意見も踏まえつつ、例えばポスターを作成するなどして幅広く周知に取り組んでまいりたい。

### (4) 県指定文化財の指定解除について

－ 指定解除する文化財の内容及び解除理由等について説明 (文化財課長) －

## 6 議案

議案第1号 鹿児島県産業教育審議会委員の任命について  
(非公開)

議案第2号 鹿児島県スポーツ推進審議会委員の任命について  
(非公開)

議案第3号 鹿児島県立図書館協議会委員の任命について  
(非公開)

議案第4号 鹿児島県文化財保護審議会委員の任命について  
(非公開)



## 7 閉会